

研究課題名

『子宮筋腫と子宮肉腫を術前に鑑別するアルゴリズム作成のための研究』

研究責任者：近畿大学医学部 産科婦人科学教室 教授 松村 謙臣

1.研究の対象

術前に MRI 検査を施行し、手術を施行した子宮筋腫および子宮肉腫症例

- ・京都大学医学部附属病院の1387例（1986年～2005年）
- ・近畿大学病院の965例（2011年～2018年）
- ・協力医療機関の症例（目標400例）（2011年～2018年）
（日本赤十字社和歌山医療センター・静岡県立総合病院・大津赤十字病院・長浜赤十字病院
・滋賀県立総合病院・京都医療センター・高松赤十字病院・北野病院・大阪医療センター
・大阪赤十字病院・神戸市立医療センター中央市民病院・兵庫県立尼崎総合医療センター
・公立豊岡病院・天理よろづ相談所病院・倉敷中央病院）

2.研究目的

子宮筋腫（良性）と子宮肉腫（悪性）の鑑別診断には、MRI画像診断、血清LDH値などが参考になりますが、多数の症例を解析して、より精度の高い診断方法をみつけることを目標としています。

3.方法

〈全症例に対して、下記の情報を診療録から収集します〉

年齢、術前MRI実施日、手術日、病理診断結果、術前のLDHの測定日と測定値および施設基準値、生存/再発予後（再発日、最終予後調査日、最終予後調査日における状態；無病生存 or 担癌生存 or 死亡）

本研究の情報は、将来の研究に役立てるために2次利用を行う場合があります。

その場合は、改めて倫理委員会の承認を得たうえで行います。

4.研究期間

倫理委員会承認後～2024年3月31日

5.お問い合わせ先

本研究についてご質問がありましたら、下記連絡先までお問合せ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、患者さんが特定できる情報（患者さん氏名・カルテ番号）については削除され、匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合はお申し付け下されば情報利用することを停止致します。情報利用を希望されなくても、不利益を被る事はありませんのでご安心下さい。

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 産婦人科

主任部長 本田 徹郎 E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）